◆韮句会◆

秋立つや志功の版画膝まろし　公文　春紀
市役所へ四十五キロ葛の花　岡本かほる
台風の名残の風や雨戸繰る　高橋　章
遥かなる風の声聞く沖縄忌　北村　幸子
梵鐘のかすかに揺るる青嵐　西川　常夫
自動シャッター軋(きし)みて上る朝曇　甲藤　卓雄
源流の水汲みをればほととぎす　野崎　典子
声合わせカヌー漕ぐ浦鰡(ぼら)飛べり　北村　里子
放り投ぐ花束のごと大花火　明石　英子
筆塚の旧き字体に絲蜻蛉(いととんぼ)　竹内　ろ草

◆かがみの俳句会◆

薔薇の香や白寿の宴に赤ん坊　佐竹　洋子
蛍の夜命長しとヨガ習ふ　鍵山　和枝
花合歓や峡へ行く客迎へ咲く　佐藤　幸
浄土より便りのごとく蓮開く　利根　弘子
滴りて連山切り立つ奥物部　古川　信子
小康の日なり昼寝するゆとり　小松　愛子
健康を人にほめられ更衣(ころもがえ)　西内　保衛
山の風たたまれやすき合歓の花　中澤　美晴
山の湯や窓より燃ゆる緋のカンナ　森本　倢代
一瀑(いちばく)の音訪ね来し藤の花　山﨑　鈴子
ここよりはいざなぎの里合歓の花　吉田　芳

◆かほく俳句会◆

ビルマてふ国既に無き終戦日　乾　真紀子
献血の叶はぬ齢や終戦日　久保　貴女
敗戦日また新しきモンペ買ふ　黒岩千英子
すいとんに命繋ぎて終戦日　黒岩　幸女
戦犯がなぜ靖国へ終戦日　小松　隆之
父の事何も知らざり終戦日　小松　昇
喪の家の明かりの長し夜の秋　杉山　春萌
盆供養鬼籍の人の多くなり　西本　昶猪
虫喰ひの国旗を出して終戦日　前田　欣一
背の山に蝉鳴き沈み敗戦日　前田　秀女
世の贅(ぜい)を生きて八月十五日　間崎　和代
敗戦忌鯨部隊の父は亡く　森本　之子
大戦は活字で知りぬ終戦日　山崎かずみ
雀追ふ老女となりぬ敗戦忌　山中　晶子
水筒に刻まれし名や終戦日　山中　瑞輝
目に汗の沁みてメガネの疎ましく　山中　明石

◆土佐山田町俳句会◆

白雲と青い折鶴ナガサキ忌　前田　小夜
抽斗(ひきだし)に亡夫(つま)の時計の夏刻む　中沢としみ
秋暑し鏡の中の髭っ面　大石　邦男
送り火の炭を竈屋(かまや)の軒に吊る　明石　韮生
牛を飼う男の背中敗戦日　前田美智子
文月や戦争映画の姉弟　樫谷　雅道
百年の蔵にひびきし夏の咳　橋本　昭和
仁王門より炎天の遍路道　田村　一翠
原爆忌しょうがないでは済まされぬ　前田　隆明
緋のカンナ遺書は右肩上りなり　安丸　槙子

◆投稿作品◆　広報委員会　選

白蝶の舞いもつれ落つシャガの花　西尾　玉喜
紫陽花に明日こそ雨とそっと告げ　三谷　誠郎
あのひとを想い出させてホタル舞う　山本　泰子
散髪の狭庭に喜雨の来たるかな　岡本　朴舟
炎昼の道行く人の影もなし　北村千鶴子
轟滝冷える飛沫に生身触れ　高野　和一
朝顔をのれん代りに風涼し　和田　可代
しなねさまソバ蒔く頃と習いけり　山﨑　寿美
盆月夜祖父母の声をなつかしむ　山崎　貴子
雲の峰生み出す山の力かな　千頭　野草
雛育てツバメ飼う日々季節過ぎ　小野寺朱実
稲の穂の実りの香り野辺の道　小原　子川
台風禍隣家の方に助けられ　小原　景守
土州大峰盛夏の火踏み生きぼとけ　福留とものり

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。（ただし、ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで五句（首）以内）
▼かい書で、住所、氏名、電話番号を必ず明記してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。

【投稿先】
企画課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501　香美市土佐山田町宝町1－2－1
（☎53－3114　FAX53－5958）

香美市立美術館 アートの窓

「デハラユキノリ10年分」回顧展1997～2007

開催中～11月4日(日)

若者の圧倒的人気を得ているフィギュアイラストレーター・デハラユキノリ（本名＝出原幸典）の初期の作品から最新のフィギュア作品まで、約四百点を一堂に展示します。

一九七四年生まれのデハラユキノリは、大阪芸術大学卒業後、京都の広告会社に入社しますが、一九九一年に退職し、プロの作家を目指して上京します。現在、東京を中心に、フィギュアイラストレーターとして独創的なキャラクターを制作し、東京、高知、台湾、香港、ニューヨーク、ロサンゼルスで個展を開催するなど、国内外で活躍しています。

紙粘土から生まれるフィギュア（人形）は、人気キャラクター「サトシくん」、『ポップ妖怪展』の「めんた君」をはじめ、『お野菜戦争』シリーズ、『ザ・ジンギ』シリーズ、『ジバコレ（ニッポン地場産業フィギュアコレクション）』シリーズなどがあります。

写真のフィギュアは、『お野菜戦争』シリーズの「キャロラインとブロッ子」です。ニンジンとブロッコリーからイメージをし、紙粘土を使って一体、一体を手づくりで創り上げています。

「きもかわいい！」と、若者を中心に人気の高いこれらの作品を、コレクターの協力も得て、一堂に展示し、十年間の足跡を振り返ります。お子様から若い人人にはもちろん楽しんでいただける展覧会だと思いますが、ご年配の方々もフィギュアを通して「今の時代」を敏感に感じ取って、表現している若い作家の作品をご覧いただきたいと思います。（館長・北　泰子）

「キャロラインとブロッ子」
デハラユキノリ

スポーツニュース

香長ファイティングが準優勝

《第2回香美市少年野球大会》

『第二回香美市少年野球大会』が八月十一、十二日の二日間、土佐山田スタジアムなどで開催され、十六チーム（市内からは五チーム）が参加しました。

香美市のチームとして香長ファイティングが決勝まで進出しましたが、惜しくも敗れ（0対3）、準優勝となりました。

【大会結果】

優勝＝嶺北ジュニア（土佐町）、**準優勝＝香長ファイティング（香美市）**、三位＝野市東部ライオンズ（香南市）、大篠スポーツ少年団（南国市）

子どもたちの熱戦が繰り広げられました
（土佐山田スタジアム）